

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

苅田町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県京都郡苅田町

3 地域再生計画の区域

福岡県京都郡苅田町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は 2010 年国勢調査結果の 36,005 人をピークに減少しており、2015 年に 34,963 人となっている。住民基本台帳年報によると、2021 年には 37,451 人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060 年の人口は 20,603 人と推計され、2010 年比で総人口が約 57.2%となる見込みである。

平成 28 年経済センサスによると、本町の製造業の従業者数は全業種の従業者数の 44.7%を占めており、町内の産業が製造業に偏っていると言える。その中でも輸送用機械器具製造業（自動車産業）の従業者数が全業種の従業者数の 32.9%と高い。2010 年に人口のピークを迎えたのは、基幹産業である自動車産業の影響を大きく受け、2010 年の転入者数が一時的に突出して大きくなったことが原因と考えられる。

本町の年齢 3 区分別人口については、国勢調査結果によると、年少人口（15 歳未満）は、1980 年の 7,413 人から 2015 年には 4,990 人へと 35 年間で約 33%減少しており、今後も減少し続けると見込まれる。生産年齢人口（15～64 歳）は、2000 年の 24,237 人をピークに減少傾向にあり、2015 年には 21,210 人となっている。一方、老年人口（65 歳以上）は、1980 年の 2,575 人から 2015 年には 8,251 人へと、35 年間で約 3 倍以上に急増しており、少子高齢化が進んでいることが分かる。

本町の自然動態については、福岡県人口移動調査によると、2009 年以降は出生数が死亡数を上回る自然増の状況が続いていたが、出生数は 2011 年の 412 人をピークに減少傾向となり、2015 年、2018 年及び 2020 年は死亡数が出生数を上回る自然

減となり、直近では2019年は7人の自然増、2020年は44人の自然減となっている。
また、RESAS人口マップの人口構成によると、出生に関係のある15～49歳の女性の人口が1995年以降減少している。

本町の社会動態については、同じく福岡県人口移動調査によると、2010年に転入者の増加により691人の社会増となった後は、2015年までは転入と転出がほぼ均衡する状況で推移している。2015年以降は、社会増が大きくなっていたが、直近では2019年は102人、2020年は164人の社会減となっている。また、RESAS人口マップの人口の社会増減によると、近隣市町村には社会減となる状況が続いており、2017年以降ほぼ全年代で社会減となっている。

このような人口減少が今後も続くと、地域産業の衰退、地域コミュニティの機能低下、税収の減少による行政サービスの低下などの課題が生じる。

これらの課題に対応するため、本計画において以下の事項を基本目標に掲げ、多様な産業を発展させ、女性も働きやすく安定した雇用の創出を図ることで町内の従業者数の増加につなげる。また、地域を守り活性化する取組等を通じて、定住意向のある人（これからも苅田町に住み続けたいと思う人の割合）を増加させ、移住等の町内への新たなひとの流れを促進して、近隣市町村を含めた社会増加数を増やす。そして、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、再び自然増となるべく出生数を増加させる。

基本目標① 苅田町にしごとをつくり、安心して働けるようにする

基本目標② 苅田町に新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	従業者の増加数	0人	828人	基本目標①

イ	社会増加数	△163人	(5年間累計) 943人	基本目標②
ウ	出生数	312人	(5年間累計) 1,736人	基本目標③
エ	これからも苅田町に住み 続けたいと思う人の割合	88.8%	90.0%	基本目標④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

苅田町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 苅田町にしごとをつくり、安心して働けるようにする事業

イ 苅田町に新しいひとの流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域
を連携する事業

② 事業の内容

ア 苅田町にしごとをつくり、安心して働けるようにする事業

既存産業の再成長と新たな産業創出による新規雇用を創出する、農業の
担い手を確保する、観光産業を強化する及び雇用環境の向上に資する事
業。

【具体的な事業】

- ・ 交通インフラ整備を通じた企業競争力の向上支援
- ・ 新たな産業の創出と多様な雇用機会の提供

- ・製造業の更なる誘致、および既存関連産業の誘致による産業クラスターの形成
- ・自立できる農業経営支援による担い手の確保
- ・観光資源の観光業への活用・観光 PR の強化・観光にまつわるサービス業の育成
- ・既存事業の競争力強化に向けた支援
- ・町内の事業所における雇用の確保 等

イ 苅田町に新しいひとの流れをつくる事業

町内就職を促進する、定住につながる魅力あるまちづくり、観光を通じた交流人口増加させる、交流人口から移住への転換を促進する及び関係人口の創出・拡大に資する事業。

【具体的な事業】

- ・移住促進・交流人口の定住人口への転換及び関係人口の創出
- ・町内での就職促進による転出抑制
- ・観光資源の観光業への活用・観光 PR の強化・観光にまつわるサービス業の育成 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚支援活動を推進する及び結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援に資する事業。

【具体的な事業】

- ・出会いの場の創出
- ・妊娠・出産への支援及び母子保健事業の推進
- ・子育てに対する不安や経済的負担の軽減
- ・子どもを育む環境の充実
- ・就労と子育ての両立支援
- ・子どもの見守り強化に向けたネットワークづくり 等

エ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

地域コミュニティ活動による地域課題解決への取組に関する、都市基盤を確保する、行財政基盤を強化する、未来技術を活用する及び持続可能

なまちづくりに資する事業。

【具体的な事業】

- ・地域コミュニティによるふれあい・支えあい活動の推進
- ・地域、企業が一体となった地域課題の解決の推進
- ・誰もがいきいきと活動し、健康で生きがいを持てる生活環境の整備
- ・地域における安全・安心の確保
- ・都市機能の確保
- ・青少年の健全育成
- ・広域行政の推進及び既存公共施設の適正な管理 等

※ なお、詳細は第2期荻田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000 千円（2021 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 10 月に外部有識者等による荻田町総合戦略審議会による外部評価を行い、評価後速やかに荻田町公式ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで